

タイの医療はどんなもの？ アジア進出！from 渡邊先生



このインタビュー企画は、
チームWADA学生部の田中委員長の記事を偶然見かけた
ひよっこ of ひよっこ医学生の服部が「僕もやりたいで
す！」と半分勢いで便乗してまとめてみたものです。
とりあえずがんばります！

今回の対談メンバーはこちら↓



ゲスト
渡邊隼 Shun Watanabe
タイ
ランパーン病院
心臓外科

インタビュアー
服部圭真 Keishin Hattori
日本
三重大学医学部医学科3回生

21:56 タイの魅力は何ですか？

22:08

22:15 なるほど。金銭的なコストは留学先を決定する際に大事な要素の一つですね。

22:18 タイの医療の印象はどうですか？

22:42

22:54 そうなんです。学生の私でもタイの医療現場の雰囲気を感じ取ることができました。

23:05

23:28 タイの食事の感想を教えてください。

23:30

23:38 それは意外でした。飲み物はどれくらい甘いのか一度飲んでみたいですね。

23:47 海外留学を考えている人達に一言お願いします。

23:56

渡邊先生

とにかく手術に特化したトレーニングが積める場所ですね。欧米のように、最先端の医療を学んだ後に日本で実践するといったことは難しいと思います。タイではライセンスは要らないですし、手技のスキルを磨きたいという人にはおすすめです。あと金銭的なコストに関して、アジアは欧米諸国と比べると良心的です。人によるとは思いますが、年間150万くらいあれば十分でしょう。

医師はかなり不足しています。1000人の患者に対して日本では2人前後である一方で、タイでは0.3人しかいません。患者の医療リテラシーも低めです。保険を適用している患者は100パーセントで全ての手術を受けられます。ですが、待ち時間は長いです。40人1部屋の空間で隣の患者が急変することも多々あります。無鎮静で挿管されても頑張っている患者さんもいるし、患者同士でお互い励まし合いながら早く退院していきます。心臓手術の平均入院期間は5日程です。医療機器は再利用が多いですが、感染率は日本と大差ありません。TAVIやロボット手術などコストのかかる治療はあまり盛んではないです。しかし、サージカルスキルは一流なので、小開胸手術など機材が揃えばできる治療は至って進んでいます。

どこの国でも基本的に医師同士の会話は英語で行われるので、やはり英語は必要です。上手な英語が喋れると周りからの全体的な評価は上がりますし、それでチャンスが掴みやすくなる気はしますね。何にせよ英語は出来るに越したことはないですね。

日本人に好まれる味付けが多くて、普通に美味しいですよ。パクチーや辛いものが好きだったら尚更美味しいです。私は特に合うので、ずっとタイに住んでも良いくらいです(笑)。あと炭水化物が多くなりがちです。フルーツも日本に比べて安いし美味しいです。飲み物は基本激甘なので、甘さ控えめで頼むのを忘れると後で大変なことに...

海外留学は行き先と目的をしっかりと考えましょう。そうすれば、日本では得られないものが得られるはずです。また、異国での生活そのものが人間としての価値観の幅を広げ、大きなものにしてくれます。金銭面やライセンスなどの要件も考慮し、自分に適した留学先を早めに選びましょう。その上でコンタクトを取ったり準備をすれば、自分にとって価値のある留学になるのではないのでしょうか。

今回の学び

- ①腕を磨きたいならタイはあり！
- ②留学の費用は米国より断然安い
- ③留学先はよく考えよう！世界を広く見よう

渡邊先生、ありがとうございました！

